

CKDとは？

またしてもアルファベットの略語なんて、とお思いでしょうが、CKDとは慢性腎臓病の略語です。軽度腎機能障害を含めCKDと診断される人は、わが国で約2,000万人と推測されています。腎臓の問題が、心臓および脳血管の問題と関連して発症してきます。早期発見、早期治療が重要です。

院長 小川洋史



写真：大雪山錦秋(北海道) 撮影：小川洋史

新生会のCKD(慢性腎臓病)対策

院長 小川 洋史

CKD(慢性腎臓病)とは

CKD(慢性腎臓病)とは、腎臓の障害(蛋白尿など)もしくはGFR(糸球体濾過量)60ml/分/1.73㎡未満の腎機能低下が、3ヶ月以上持続するものです。血液中クレアチニン値では、大体1.5mg/dl以上がCKDとなります。

CKDは、狭心症・心筋梗塞・脳血管障害を引き起こす原因にもなり、大きな問題となっています。わが国でCKDと診断される人は、軽度腎障害を含めると約2000万人存在すると推測されています。

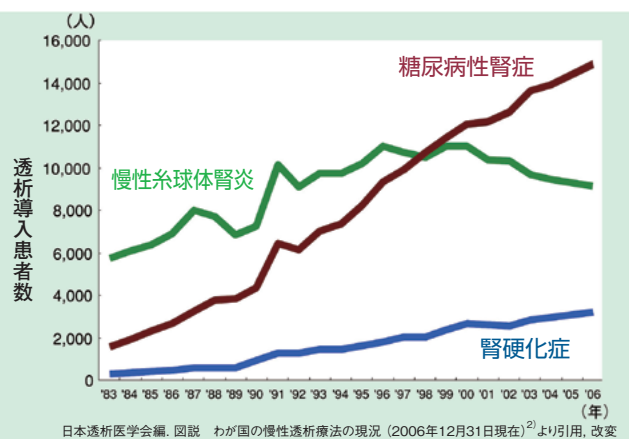
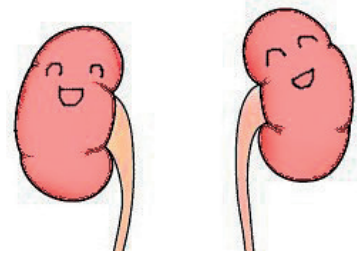


図 年別透析導入患者数の推移(主要原疾患)

慢性の腎臓病の原因疾患といえば、以前では慢性糸球体腎炎が1位でしたが、近年、糖尿病や腎硬化症が増えており、CKD増加の主因となっています。(図)

CKDが悪化し、自分の腎臓が機能しなくなると、最終的には透析療法が腎移植が必要となります。

わが国の透析人口は、年々1万人ずつ増加し、2007年12月末で約27万5000人となっています。

けんこう百花61号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

CKD（慢性腎臓病）の治療

近年、医学の進歩によりCKDの進行を遅らせることが可能となってきました。是非、早期発見、早期治療に結びつきたいと考えています。

CKDの治療には、薬物治療ばかりではなく、食事療法（減塩・低タンパク）も重要であるため、当院では、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士がチームを組んで治療にあたります。



また、患者さまやご家族に対し、服薬・食事療法などについて教育を行うことも重要と考え、教育体制も完備しています。

また、病診連携を通して、近隣の開業医の先生方と共同で診療にあたることも計画しています。



CKD（慢性腎臓病）の教育

当院では、腎臓病教室とオープンセミナー（公開講座）をそれぞれ年に3～4回開催し、患者さまやそのご家族、また一般の方々に、腎臓病についての情報を提供しています。急性の病気と違い、慢性の病気は永く病気とつきあうこととなります。

個々の患者さまが病気の自覚と正確な知識を持って療養生活を行うことが大切だと思っています。

CKD（慢性腎臓病）の教育入院

当院では、患者さまやご家族の皆さまに病気をよりご理解いただくために、個々の患者さまの検査データに沿ったCKD教育入院を企画しました。

当院の医療チームメンバーが、病気や薬・食事についてわかりやすく話をいたします。病気とうまくつきあいながら、腎機能を良い状態に保つような生活をめざしましょう。（表）



出来上がった料理



教育入院2日目に実施する調理実習

（表）CKD（慢性腎臓病）教育入院内容

（期間） 木曜～金曜（1泊2日）

	項目	担当		項目	担当
ク レ ア チ ン 2 ～ 3	* 腎機能を保つために	医 師	ク レ ア チ ン 3 以 上	* 腎不全とその治療	医 師
	* データの見方			* データの見方	
	* わかりやすい腎不全食	管理栄養士		* わかりやすい腎不全食	管理栄養士
	* 調理実習			* 調理実習	
	* 腎臓病と薬	薬剤師		* 腎臓病と薬	薬剤師
* 日常生活の注意	看 護 師	* 日常生活の注意	看 護 師		
* 家族面談		* 家族面談			
* フットチェック		* フットチェック			
				* 治療方法の紹介	
				* 長期療養の支え	ソーシャルワーカー

診療支援システム『Yahgee(ヤギー)』導入されました!

医療情報システム運用責任者 医師 長屋 敬

診察室に入るとそこに2つのディスプレイがあると思います。これはヤギーという診療支援システムで、HOSPYグループ(新生会第一病院、名古屋記念病院、十全クリニックなど)で撮ったレントゲン写真、CT、MRI画像などをすぐに見ることができます。



モニター上で画像を自由に拡大したり、濃淡を変えたり、計測をすることで診断の精度が向上し、過去の画像データもすぐに呼び出すことができます。これを有効に使ってさらに診療の質を高めていきたいと思っています。

病院スタッフ集合写真 シリーズ第2弾 ~コメディカルスタッフ編~

臨床工学部

新生会第一病院の臨床工学技士は12名在籍しています。仕事の内容は透析装置、人工呼吸器など医療機器全般の管理(保守点検)をしています。また、血液浄化センターでは医師・看護師とチームワークを組み透析の臨床業務をしています。在宅血液透析の透析装置を管理する為、家庭を訪問して装置の点検を行います。医療機器を管理し、患者様が安全に、安心できるよう頑張っています。



明るく元気に仕事に取り組んでいます

臨床検査部



力を合わせて頑張っています

検査科は、診療に必要なデータを提供する為、血液や尿等の検体検査と心電図やエコー等の生理検査を行っています。患者様が安心して検査を受けられるように明るく笑顔で接し、分かりやすく説明することを心掛けています。

いきいき活動報告

第9回 新生会オープンセミナー

2008年9月6日に、当院集会室で第9回オープンセミナーを開催しました。今回のテーマは「知っていますか?メタボリックシンドローム」と今年4月より開始になった「特定健診・特定保健指導」についてでした。当日の参加者は18名でしたが、講師からのお話を興味深々に聞かれたり、質問があったりと活発的なセミナーとなりました。



「不健康な生活習慣により内臓脂肪が増加し高血圧、高血糖、脂質代謝異常などから動脈硬化が進行し、脳血管障害や心臓血管障害を引き起こしやすくなる」と話す長屋医師

2008年4月から変わった健康診断について詳しく説明がありました。「当院でも特定健診、特定保健指導を行っていますので、ご利用ください」と話す増田課長



腎教室を開催しました

2008年8月22日(金)に保存期腎不全の患者さんを対象に腎教室を開催しました。毎年、年3回コースで行っています。

今回は今年度の第1回目で、医師より「腎不全とは」、管理栄養士より「わかりやすい腎不全食ーたんぱく質のとりかたを中心にー」という講義内容でした。

「腎不全とは」では、腎臓の働きや腎不全のこと、最近の動向などをスライドを使いながらポイントを押さえた説明があり、参加者はメモを取っていました。



「わかりやすい腎不全食ーたんぱく質のとりかたを中心にー」では、腎不全治療に大切なたんぱく質を減らした食事のとりかたが実践できるような方法を学んでいました。参加者9名でにぎやかで楽しい教室になりました。

第2回腎教室は10月18日(土)13:30~15:00の予定です。申し込み、問い合わせは当院外来看護師にお願いします。

健康ネットワーク“いきいき”

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

新生会第一病院

電話 (052) 832-8411 FAX (052) 832-8417

<http://www.shinseikai.org>

～交通機関のご案内～

- 地下鉄名城線 瑞穂運動場東下車 一番出口から徒歩10分
- 地下鉄名城線・桜通線 新瑞橋下車 市バスで弥富通4丁目下車

新瑞橋 < 幹新瑞1 < 島田住宅行き
 平針住宅行き
 神宮11 < 島田一ツ山行き
 相生山住宅行き

- 新瑞橋からタクシーで10分

- 名鉄本線 神宮前下車 市バスで弥富通4丁目下車 神宮11 < 島田一ツ山行き
 相生山住宅行き

